

## ☆12 一般動詞、三単現のs(否定文)

四角語句を、線の上に練習するでござすよ。



人は忘れる動物。だから忘れることはおかしなことではありません。自然です。

一度聞いただけで、そのまま入試当日まで覚えていることは、学年トップの子でも難しいです。

だからあなたも、「忘れることは当たり前」「忘れることはむしろ良いこと」と考えてみてください。こう考えると、悩まなくてすみますよね。結果、「じゃあ忘れないためにどうするか?」というところに、思考を集中させることができます。

学力上位者は、覚えたことを維持する方法を知っています。

なぜ実力テストなどで、つねに高得点を取り続けられる子がいるのでしょうか。それは、「覚えたことを取り出せる」準備があるからです。

「取り出せる」とは、「過去に学んだけど、学校では復習しない単元」を、完全に忘れないよう「維持」している、ということです。維持するために、春休み、GW、夏休み、冬休みを、有効に使ってほしいと思います。



出典「さつきちゃん」  
さノ助氏 集英社 より

現在の文で、主語が三人称単数 (I, you 以外の 1 人) のとき、be 動詞は is とし、一般動詞には s または es をつける。  
(例) He likes TV. (例) Does he play tennis? (例) He doesn't like TV.

「見ません」「走りません」「作りません」など、一般動詞がある文の否定文は、

主語の次に don't ドントウまたは doesn't ダズントウを置く。

don't ドントウは、do not ドウナットウの短縮形。  
doesn't ダズントウは、does not ダズナットウの短縮形です。

そして、一般動詞の原形を続ける。

(例) I don't eat sukiyaki. : 私は、すき焼きを食べません。

(例) He doesn't make sukiyaki. : 彼は、すき焼きを作りません。

名詞は、原則そのまま書かない。  
a や the をつけたり、複数形にする。

(例) 私は、犬が好きです。  
I like a dog. または、  
I like dogs. のように。

※スポーツ・食事・テレビなど、つけない名詞も多くあります。

問題 60 否定文(～しません。)を完成させなさい。

(1) I like tennis.

(2) Taro likes TV.

I \_\_\_\_\_ like tennis.

Taro \_\_\_\_\_ TV.

(3) You play the piano.

(4) 私は、ケーキが好きではありません。

You \_\_\_\_\_ the piano.

I \_\_\_\_\_ a cake.

(5) 太郎は、犬を飼っていません。

Taro \_\_\_\_\_ a dog.

〈鉄則〉 以下は鉄則です。

●一般動詞がある文を否定文にする(まとめ)。

主語が I, you, 複数 のとき、主語の次に don't ドントウを置く。

主語が I, you 以外の 1 人 (1 人) の時、現在の文ならば、一般動詞に s つける。be 動詞は am, is, are の is になる。

主語が I, you 以外の 1 人 のとき、主語の次に doesn't ダズントウを置く。

〈鉄則〉  
以下は暗記です。

以下のうち、書けないな...と不安な一般動詞はありますか? 一般動詞暗記  
作る [make]、(じっと) 見る [watch]、食べる [eat]、行く [go]、書く [write]  
(言語を) 話す [speak]、(一般的に) 話す [tell]、示す [show]、あげる [give]  
知っている [know]、会う・(自然と) 見える [see]、会う [meet]  
以上の 12 個を、次のページでテストします。練習頑張ってください!

現在の文において、一般動詞がある文を否定文にするときは、主語が I・you 以外の 1 人 (1 人) なら、doesn't を使います。

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。

# ☆12 一般動詞、三単現のs(頻度)

四角語句を、線の上に練習するでござんすよ。



英文は、「主語+動詞～」でできている。  
 (例) **The book on the desk is mine.** (机の上にある本は、私のものです。)  
 これ全部が主語      動詞      ※「動詞の前のすべて」が主語と考える。

**Who makes dinner?** (誰が夕食を作りますか。) 疑問詞の主語は、三人称単数となる。

🌸頻度を表す副詞について。

**always** オールウェイズ: **いつも**

**usually** ユージュアリー: **ふだん**, ぶつう

**often** オフン: **よく**, しばしば

**sometimes** サムタイムズ: **ときどき**

問題6 | 文を完成させなさい。

(1) My mother is **always** busy.

私の母は、  
[                      ] 忙しいです。

(2) Aki **usually** goes to school by bus.

亜紀は [                      ],  
バスで学校へ行きます。

(3) Do you **often** watch TV?

あなたは [                      ],  
テレビを見ますか。

(4) Aki **sometimes** eats a cake.

亜紀は [                      ],  
ケーキを食べます。

(5) Judy **always** talks about you.

ジュディは [                      ],  
あなたについて話をします。

**busy** ビズィ: 忙しい  
**by** 交通手段: ~で

↑ こういう、問題を解くのに、大きく関わらないところまでも、ていねいに覚えるかどうか。

そこで差がつかます。

だってそうでしょう？ 大事なところは、誰もが覚えるのだから。

〈鉄則〉穴埋めしてください。 丸付けは、前ページで。  
 主語が [                      ], [                      ] 以外の [                      (1つ) ] のとき、現在の文ならば、一般動詞に [                      ] または [                      ] をつける。

前ページの確認テストです。	前ページのテストです。	前ページのテストです。
作る [                      ]	書く [                      ]	あげる [                      ]
(じっと) 見る [                      ]	(言語を) 話す [                      ]	知っている [                      ]
食べる [                      ]	(一般的に) 話す [                      ]	会う・(自然と) 見える [                      ]
行く [                      ]	示す [                      ]	会う [                      ]
前のページ☐で丸付けします。	前のページ☐で丸付けします。	前のページ☐で丸付けします。

出典「さつきちゃん」  
 さノ助氏 集英社 より

泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。



3

四角語句を、線の上に練習するでござすよ。

be 動詞：です。います。あります。  
主語が複数なら are、三人称単数は is。

# ☆12 一般動詞、三単現のs(頻度)

英単語の覚え方：ローマ字読みで覚える。  
book は「ボオク」、China は「チナ」、write は「ワリテ」のように。  
これを2回、紙に書く。そして3回目は、何も見ないで書いてみよう(自分テスト)。

教科書を読む。隅から隅まで読む。  
重要語句以外が、勝負を分けます。

勉強の基本に、三種の神器という物があります。その1つは、教科書を読むことです。ポイントは、「子供たちにはぜひ、これを覚えてもらいたいな」と、先生になったつもりで読むのです。

そして覚えようとしなくてもポイントです。「読む」「何度も読む」という、読んだ回数に注目するのが、私のお勧めです。もちろん、太字など、確実に覚えるべき語句がありますよね。重要語句は、流れて覚えます。重要語句を、いきなり覚えるのではなく、全体を丁寧に読んで、結果として重要語句を覚えるのです。

つまり、「覚えるべき語句の周辺」も、ちゃんと読もうよ、ということです。

今、安土桃山時代を学んでいるとします。そのとき先生が強調するのは、豊臣秀吉、太閤検地、刀狩、全国統一などです。難しくないけれど、テストでは差がつきます。歴史が苦手な人はテスト後言います。「その語句は知ってたけど、いつ答えたらいいか分からなかった」と。

「将を射んとする者は、まず馬を射よ。」ということの重要性が、お分かり頂けたと思います。魂は細部に宿る！ということです。

always, usually, often, sometimes は、文中の位置にポイントがある。それは…

★ 1. 助動詞または、be 動詞 am, is, are の次に置く。

★ 2. 一般動詞の前に置く。

〈be 動詞の区別法〉  
be 動詞は、主語によって使い分ける。  
1. 主語が、自分なら am  
2. 主語が、話し相手なら are  
3. 主語が、複数なら are  
●上の1 2 3以外の時は、is になる。

「…は、～です。」  
「…は、～にいます。」  
「…は、～にあります。」  
と言うときは、be 動詞を使います。

現在の文で、主語が…  
I, you 以外の1人なら、  
一般動詞にs 付けます。

問題6 2 [ ] 内の語句を入れて、英文を完成させなさい。

(1) I am busy. 私はいつも、忙しいです、に。[ always ]

I \_\_\_\_\_ busy.

(2) Aki makes a cake. 亜紀はときどき、ケーキを作ります、に。[ sometimes ]

Aki \_\_\_\_\_ a cake.

(3) Do you play tennis? あなたはふだん、テニスをしますか、に。[ usually ]

Do you \_\_\_\_\_ tennis?

問題6 3 文を完成させなさい。

(1) 私の母は、いつも忙しいです。

My mother \_\_\_\_\_ busy.

(2) 亜紀はときどき、テレビを見ます。

Aki \_\_\_\_\_ TV.

(3) 彼はふだん、夕食を食べますか。

Does he \_\_\_\_\_ dinner?

(4) あなたはふだん、バスで学校へ行きますか。

Do you \_\_\_\_\_ to school \_\_\_\_\_ bus?

Does でs を使っているので、  
動詞は原形になります。

by 交通手段：  
～で



出典「さつきちゃん」  
さノ助氏 集英社 より

挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。

**下級生が辛いのは、未熟だから？その動きに対する耐性が、まだないだけです。**

反復練習をすると、良いことがあります。同じ動きをくり返すと、細胞レベルで、その動作や思考の道筋が、整えられます。たとえば将棋で、「えっと飛車の動きは…」と考えなくても駒を指せるように、脳が次の動きを予想して、勝手に反応できるようになります。

勉強も同じです。反復練習することで、その動きを、脳が覚えてくれているため、脳にかかる負担、使うエネルギーが温存できます。結果、長時間の学習が可能になります。

運動も同じです。1年生のころ、上級生と比べて、疲労の差が大きいと思いませんでしたか。それは、その動きに対する体力差なのです。

このように勉強も、「学校のノートを、授業を思い出しながら別の紙に写す」「2回書いた重要語句を隠して、何も見ないで書いてみる（自分テストと言います）」ことが習慣になれば、動きも思考もスムーズになります。結果、脳のエネルギーを温存でき、省エネ学習が可能となります。

最初は辛いですが、そこを乗り越えたら、勉強が（運動も）楽しくなります。



出典「さつきちゃん」  
さノ助氏 集英社 より

英単語の覚え方：教科書の余白に、そのページの難しい「英単語と意味」を、セットで書きこむのです（予習で）。そのページに出てくる分からない単語は、そのページ内のどこかに、すてにあることで、復習や単語の暗記がすぐできます。

私（塾長）も、32ページの単語テスト、5分後にするよ。と言いやすいです。

**12 一般動詞、三単現のs（否定文、頻度）【解答】 【解答】 一般動詞、三単現のs（否定文、頻度） 12**

問題60 (1)don't (2)doesn't like (3)don't play  
(4)don't like (5)doesn't have

問題61 (1)いつも (2)ふだん（ふつう） (3)よく、しばしば (4)ときどき (5)いつも

問題62 (1)am always (2)sometimes makes (3)usually play

問題63 (1)is always (2)sometimes watches (3)usually eat (4)usually go / by

不安なのは、勝つ可能性があるから。PKをはずしたのは、蹴る勇気があったから。